

事業所名		放課後等デイサービス 赤れんが 麻生教室				支援プログラム		作成日		令和7	年	4	月	1	日
法人（事業所）理念		真のインクルージョン社会の実現を目指す。													
支援方針		子ども達一人一人の無限の可能性を信じ、個性を磨き伸ばす支援を行う。													
営業時間		10	時	0	分から	19	時	0	分まで	送迎実施の有無		ありなし			
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援する。また、健康状態の常なるチェックと必要な対応を行う。 身の回りを清潔にし、食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援する。 生活の中で、さまざまな遊びを通して学習できるよう環境を整える。また、障害の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化する。													
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る。 保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援する。 感覚や認知の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行う。													
	認知・行動	視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行う。 数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得のための支援を行う。 認知の特性を踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援し、認知の偏り等の個々の特性に配慮する。また、こだわりや偏食等に対する支援を行う。													
	言語コミュニケーション	話し言葉や各種の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行う。 個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行う。 障害の特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行う。													
	人間関係社会性	人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。 大人を介在して自分のできること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援する。 集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援する。													
家族支援		家族の子育てに関する困りごとに対する相談支援を行う。 学校や家庭での様子を定期的に情報交換し、支援の仕方や支援内容を共有する。 各々の立場で子育てについての意見を出し合い、足並みを揃えた取り組みを行っていく。							移行支援		インクルージョンの観点から、地域社会への参加・包摂に係る支援を行う。 活動の幅を、個別→小集団→大集団とステップアップしていき、どのような場面で困り感が出るのかを確認する。				
地域支援・地域連携		子どもと家庭に係る関係機関や障害福祉サービス事業所等と連携した取り組みを行う。 地域の療育センター等のイベントにも参加し、多面的・多角的な支援を継続していく。 イベントへの参加を呼び掛けていく。							職員の質の向上		適切な利用者支援ができるよう、以下の研修を実施する。 ①人権研修・虐待防止研修…年2回 ②支援技術に関する研修…年10回 ③初任者研修・キャリアアップ研修…適宜				
主な行事等		4月…オリエンテーション、新入生歓迎会 5月…こどもの日、母の日 6月…父の日 7月…七夕、水遊び 8月…夏祭り、水遊び 9月…お月見 10月…ハロウィン 11月…秋祭り 12月…クリスマス 1月…お正月遊び、初詣 2月…豆まき 3月…ひな祭り、お別れ会 通年行事…誕生日会													